

日時	： 令和4年2月8日（火） 9時30分～10時40分
場所	： 第2会議室
出席者	： 委員13人（欠席3人・代理出席1人）
資料	： 第3回資料、コミュニティ・スクールのカレンダー（案）

1 会長挨拶

2 学校からの説明

- 先週、給食室のタイルが落下したため、安全を最優先して給食の一部を停止した。
- 令和4年度の学校行事について、変更点を説明した。
- 校則の見直しを、生徒会が主体となり行っている。
- 1月末現在のいじめ認知件数は9件、不登校の子どもは26人の状況。

3 意見交流・質疑

- いじめの定義は何か。→ 子どもが心身の苦痛を感じている状態。
- 進学指導は、どのように行っているか。
→ 子どもが主体的に進学先を選択することを重視している。
- 部活動の顧問によって、指導や回数に差がある。
- 11月のキャリアスクールでは、PTA役員の参加、支援推進委員会の積極的な支援がありよかった。子どもの希望制で講座が選択できたことがよかった。
- 不登校の子どもにどう関わるとよいか、子どもは迷っている。教師等に相談できる場があるとよい。
- 校則の見直しを生徒会が行うなど、子どもの主体性を育てる教育方針がよい。島中らしさも大切にしてほしい。
- 保護者アンケートで△が3か所あるが、保護者は学校の活動を十分理解していない。現在の取組について、広く保護者に知らせるとよい。
- 道路に広がって下校する中学生の姿が心配である。ふざけあう姿も見られる。
- 学校教育では、勉強も大事だが、学校行事や生徒会活動、部活動も大切にする必要がある。行事を減らすのではなく、見直していく。
- ギター・マンドリン部の地域での演奏会を、来年度もお願いしたい。
- 多様性を取り入れる教育活動は、大賛成。協力すること、我慢することを教えるとともに、家庭でも同じ歩調で取り組む工夫が大切だと考える。
- 不登校の子どもへのタブレット端末の活用が有効である。
* 保護者のあいさつ活動については、見直す意見と継続する意見の両方が出た。

4 校内参観 … まん延防止等重点措置期間のため、参観を中止した。